

新入生への メッセージ



図書館は学生を応援してくれる存在

看護学科 4年 ミカミ 三上 モモナ 桃奈

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。今、皆さんは大学という新たな場所でのスタートに期待と不安でいっぱいなのではないでしょうか。大学では、サークル活動やアルバイト、一人暮らしなど高校生時代には経験出来なかったことがたくさん経験出来ます。

しかし、それと同時に専門職を目指して単位の取得、最終的には国家試験に合格しなくてはなりません。看護学科は、2、3年生では1 Semesterで10科目以上のテストをこなす必要があります、10科目以上のテストをすべてクリアするのは決して簡単なことではありません。そんな時に皆さんを応援してくれる存在として、大学の図書館があります。図書館は、夏は涼しく、冬は暖かく、さらにたくさんの図書や雑誌があるため勉強を行うには最適な環境です。さらに事前に無人開館利用の手続きを行うと閉館後も夜 24:00 まで、朝は開館前の 6:00 から利用することができます。試験前は、多くの学生が図書館を利用し、勉強をしているため自分も頑張らないといけないという気持ちになり、勉強へのモチベーションアップにもなります。

看護学科は知識だけでなく、技術も4年間で身に付けなくてはなりません。入学して間もなく始まる「実践基礎看護技術Ⅰ」通称「基礎看」では、看護に必要な技術を身に付けます。



授業の前に DVD を何度もみて予習する必要があるため、図書館のグループ学習室を活用することが多いです。また、保健大学はグループワークを行う機会が非常に多いですが、グループワークの大半は授業時間内で終わることが出来ず、後日グループメンバーで集まって課題に取り組むことがあります。そのような時には、話しながら作業の出来るグループワークルームの使用をお勧めします。このように、図書館には、用途に応じて使用できる部屋があります。

新入生の皆さんも、ルールを守った上で図書館を大いに活用し、有意義なキャンパスライフを送ってください。

